

ゆいのき

「 みんなが 楽しく 城山中央小学校 」

第3号
令和2年8月
室田和宏

合言葉は「まごころ日本一」

「〇〇さんと仲直りできますように。」7月7日の七夕飾りの短冊にこんな願い事を見つけました。「そうか、けんかしちゃったって聞いたなあ。もしかしたら、このことを一晩中考えていたかもしれない。この気持ちを相手に伝えることができたかな？仲直りはできたかな？

・・・・・・・・ ちょっと気になって、下校の時に様子を見てみると ・・・・・・・・
「明日も仲良く遊ぼうね」「うん、また明日遊ぼうね」大きなランドセルを弾ませながら、こんな言葉を交わし、ニコニコ笑顔で帰っていく二人がいました。心が温くなりました。

学校再開後、子どもたちの純粋さ、地域や保護者の温かさに支えられる日々を過ごす中で、「目指せ！まごころ日本一」という言葉が自然と浮かんできました。コロナの渦中だからこそ、城央小のまごころ教育の役割が、より一層重みをおびていると実感しています。



なかよし班（縦割り班）での活動



なかよし班の活動がスタートしました。「縦割り班での活動を通して、個々の立場を認め、協力して充実した活動へ高めていこうとする態度を養うこと。交流する中で、下級生への思いやりや上級生への尊敬の心を培うこと。」をねらいとしています。1回目は、顔合わせと計画づくりでした。グラウンドでの活動に変更しての実施でしたが、6年生がうまくリードして、どの班も、とても温かい雰囲気の中で自己紹介をしていました。**密を避けるための集合の仕方や遊びの内容決めは、**6年生とはいえ、普段とはかなり異なる難しさがあったはず。相談するときに近づきすぎないように大きめの円を地面に書いて示すなどの工夫に、子どもたちのたくましさを感じました。

あいさつ運動（魅力協&児童会コラボ）

7月6日（月）からあいさつ運動を実施しています。最初の1週間は、各地区の通学路ではまごころサポーターさん、保護者のみなさんが声掛けをしてくださいました。いつもありがとうございます。



そして学校では児童会主催のあいさつ運動をあわせてスタートさせました。6年生から毎週順番に、当番が挨拶で迎えます。TVのニュースでは、朝の会で「おはようございます」の声を出さずに1日のスタートを切っている様子が紹介されており、本校でも、行事の可否について議論しました。「大きな声で元気よく」だけが挨拶ではない。挨拶の心がけはぜひ継続し、気持ちが伝わる挨拶を子どもたちといっしょに考えてみよう」とスタートしました。大声は出せないからと、ポスターを手にしたたり、笑顔の練習をしたり、工夫して取り組んでいます。こんな時だからこそそのアイデアも見られ、あきらめないことの大切さを学んだ気持ちです。

グリーンサポーターさんに感謝！

委員会活動がありました。緑化委員会では、グリーンサポーターの皆さんにお手伝いをいただいて、夏の草花の植え付けを行いました。毎朝の水やりもしっかり行っています。まごころこめて大切に育てていきましょう



～命を守る 安全と安心の取組～ 普段通りの交通安全・生活安全もしっかりと



通学路の合同点検

市道路管理課、中央警察署の交通管理者、市教委学校健康課と連携し、昨年度からの懸案となっている羽下地区の通学路の合同点検を行いました。



子ども自転車免許事業

4年生を対象に実施しました。市の生活安心課、中央警察署の方に来ていただき、自転車の安全な乗り方を学びました。くれぐれもヘルメットを忘れずに。



心肺蘇生法講習

プール開きに合わせ、AEDの使用方法も含めての研修でした。密を避けるために20名以内との制約もあり、今年は職員のみで実施しました。

～学校保健・給食委員会～

7月28日、コロナ対策について医療の立場からアドバイスをいただきました。学校医の藤垣先生に「新型コロナウイルス感染症について」と題しご講話を、そして学校歯科医の三木先生、学校薬剤師の廣田先生にもご助言をいただきました。今後の対策に役立ててまいります。

○接触感染のウイルスの侵入口は、目鼻口。目鼻口を触る前に手を洗ってしまうことが肝要。

○飛沫感染を防ぐためにはマスクの着用とソーシャルディスタンス。

○エアロゾル感染を防ぐには、密集を避けることと空気の入替え。

○消毒は正しく。いろいろな場所で手に入るが、製造年月日やアルコール濃度などを参考に選ぶとよい。

～緑の少年団結団式（TV放送）～



「花の水やりや草むしりなどの活動を通して緑を大切にし、増やしていくことを誓います。」と代表が誓いの言葉を述べてくれました。本校の緑の少年団は今年でちょうど40年になります。

緑とふれあい、緑を守り、緑を育てる活動を通して、自然を愛し、人や社会を愛する心豊かな社会人に育てていくことが、緑の少年団の理念です。今年は41代目緑の少年団。良き伝統を引き継いでいきましょう。

～対話を通して深める～

新しい生活様式の中で、警戒レベルに応じて、ガイドラインに沿った行動がとれるよう、マスク、手洗い、ディスタンスを粘り強く呼びかけつつ、対話を通して学びを深めるよう各クラスで工夫しています。

【道徳の研究授業】

【作戦立ててベースボール】

【間隔とってペアトーク】



宇都宮市教育委員会の和田千明指導主事を招き、研究授業、そして研究会を行いました。（写真左）提案授業を提供したのは4年2組の児童と横溝教諭です。本校では昨年度より道徳教育に視点を当てて研究を進め、本年度は継続2年目となります。「親友から来た郵便の料金不足について、伝えるか伝えないか。」相手との信頼関係は大丈夫なのか？どうしてあげることが真に相手のためなのか？」真剣に話し合う授業をもとに、研修を行い、私たち教員も「学び合い」を深めることができました。密を防ぎながら、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」を実現していくことには難しさもありますが、あきらめずに方法を模索していきたいと考えています。

※ 行事のようすは、随時本校ホームページに掲載していますので、どうぞご覧ください。

